

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)
2007年7月11日~13日

機関リポジトリの導入戦略


国内の大学における現状と運用の諸問題

千葉大学情報部学術情報課
加藤晃一 (kabe@ll.chiba-u.ac.jp)

CURATOR

Chiba University Repository for Access to Outcomes from Research

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/



本日の内容


- 学内合意形成
- 予算
- 体制
- システム
- コンテンツ
- 広報
- グッズ論
- お節介?

2007/7/11 - 2007/7/13

平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

Chiba University Repository for Access to Outcomes from Research

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/



学内合意形成

- 学内合意形成とは？

大学自体が学術機関リポジトリ事業を認知し、賛同し、協同できるような状況を作り出すこと

学長・理事会・評議会等の学内要所への説明やプレゼンテーション、関連委員会での審議を通じ、運営当事者以外に学術機関リポジトリを理解してもらうための努力


「なぜ図書館が運営するのか！」を明確に！

2007/7/11 - 2007/7/13

平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

Chiba University Repository for Access to Outcomes from Research

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/



学内合意形成

- 合意形成のプロセス

大学においては、独自の文化や規模の違いがありそれぞれに応じた合意形成のプロセスが考えられる。それぞれに最適な方法で合意形成を得ることが望ましい。

↓

トップダウンとボトムアップ

2007/7/11 - 2007/7/13

平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

Chiba University Repository for Access to Outcomes from Research

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

学内合意形成

- トップダウン
学長や担当理事との共同事業
トップとの共通認識の形成
- ボトムアップ
図書館(情報担当部局)等、下部組織からの事業計画

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

学内合意形成

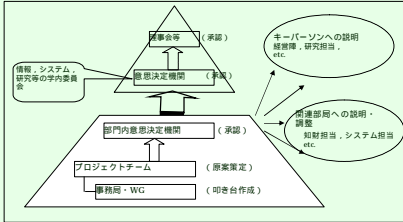
- ボトムアップの例
部門内(附属図書館内)職員等によるワーキングの取り組み
部門内意思決定機関(附属図書館運営委員会・商議会等)でのオーソライズ
事業に協力的な教員を中心とした所管委員会(プロジェクト・チーム)の設置
運用指針類の原案作成
部門内意思決定機関による指針類の承認
関係他部局(知的財産管理担当部局等)との調整
上位部門(理事会・評議会等)への提案・承認

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

学内合意形成

- ボトムアップのイメージ図



2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

予 算

- 事業資金の見積
システム(サーバ、ソフトウェア)
コンテンツ(メタデータ作成、PDF作成)
情報収集(先行大学の調査等)
人員(アルバイト)
- 予算の調達
部内資金、学内資金
学外資金

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

CURATOR

予 算

- 部内予算
 - 運営費からの捻出
 - 図書館システムのサブシステムとしての導入**
- 学内資金
 - 学内競争資金(学長裁量経費)
 - 教員との協同研究
 - 学内別事業との連携(教員DB形成等)
- 外部資金

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

CURATOR

予 算

- 外部資金
 - CSI事業(という追い風は止まる?)
 - 科研費(は難しい?)
 - 独自スポンサー(はいるのか?)

機関リポジトリへの初期投資は終わったか否か?

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

CURATOR

体 制

- スタッフの確保
 - 専任か兼任か(先行機関の大半が兼任)
 - 運用開始前・開始後(安定後)の体制の違い
- 図書館内ワーキング
 - 日常業務への負荷の見極め
 - 短期非常勤職員の雇用

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/


CURATOR

体 制

- 他部局との連携
 - 部局図書館 **本館がやっていることはよくわからない!?**
 - 事務部門 **学務部門:教員・学生(=コンテンツ)とのパイプ役**
 - 情報部門:教員業績データベースとの連携**
- 他部局との調整
 - 知的財産管理部門との関係
 - 特許としての権利喪失=資産としての価値の喪失に注意が必要
(理工系学位論文など)**

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)


http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

 システム

- 数ある？ 選択肢
 - パッケージ商品の導入
Dspace, E-repository, InfoLib-PMH, USACO-Repository
 - 図書館システム
E-repository, NALIS, iLisSurf e-Lib
 - オープンソース
Dspace, XooNlps

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/


 システム

- システム構築で悩んだら・・・
 - 学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト報告書
<http://www.nii.ac.jp/metadata/irp/NII-IRPreport.pdf>
 - DRFメーリングリスト
 - ユーザー会の情報交換
 - ソフトハウスの支援サービス

一人で悩むのはやめましょう！

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

 システム

- 他システムとの連携
 - 学内研究者業績システムとの連携

↓

リンクの方法
メタデータ経由か？
一次情報へダイレクトか？

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

 システム

- 他システムとの連携
 - 学外システムとの連携

↓

Scirus / Scopus
Google Scholar
CiNii

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

システム

Scopusの画面

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

システム

Cited by Web sources

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

システム

- 名称・愛称
 - 覚えやすいか?
 - 事業のイメージ作りに有効か?
 - 大学のイメージ(UI: University Identity)に合致するか?
 - 登録商標等を侵害しないか?

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

コンテンツ

- 機関リポジトリの目的をどこに置くか?
 - ターゲットを絞るか(例: 学術論文中心か)?
 - 学術成果すべてか?

↑↓

- 「数・量の評価」との戦いがあるか?
- 学術論文以外に見せたいコンテンツがあるか?

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

コンテンツ

CURATOR

- コンテンツ収集
 - コンテンツはどこにあるのか?
 - 探索(大学の常識、Webチェック)
 - 研究者へのアクション(アンケート、インタビュー)
 - 説明会、登録依頼

↓

構築初期・運用初期に集中的に行う作業

↓

- 「研究者からのアクション」への期待

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

コンテンツ

CURATOR

- 学術論文
 - 著者最終版の注意
- 紀要電子化
 - CiNiiや既存コンテンツの活用
 - バックナンバー作成の注意
- 科研費報告書・学内研究成果報告書
 - 中身(雑誌別刷)に注意

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

コンテンツ

CURATOR

- 博士論文
 - 論文提出と電子化許諾をシステム化
 - 公開時期への配慮(特許面への配慮)
 - 出版(単行本化)への配慮
- 研究データ類
 - 特徴あるコンテンツ = 大学の目玉
 - 研究者以外にもアピール可能
 - (例: デザインデータ、衛星データ)

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/


コンテンツ

CURATOR

- オーバレイジャーナル
 - リポジトリを活用した電子ジャーナル
 - ⇒ オープン・アクセス・ジャーナル
 - 一見簡単?
 - ⇒ ジャーナルのトップ、目次作成の作業
 - ⇒ 学部・学科、研究室等の協力不可欠

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/


 **広 報**

- 言われるまでもなく...
学内への知名度を上げるとともに、
その有用性をアピールする
- 図書館の広報(学内・学外)
 - ・図書館報
 - ・図書館のWeb
 - ・リポジトリ・ニューズレター

コンテンツ登録依頼・説明会も学内PR

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)


http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

 **広 報**

- 学内への広報
 - ・大学の広報(学内向け、学外向け)
 - ・大学のWeb(Webからのリンク)
 - ・大学の定例取材・会見(地元記者クラブ)
- 学外への広報
 - ・図書館情報学関連雑誌への投稿
 - ・情報発信者(ブログ)への情報提供
 - ・マスコミの利用(新聞、テレビ等マスコミ)

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/


 **広 報**

- 注意すること
用語の工夫
 - ・図書館用語を使っていないか?
 - ・リポジトリ関係用語は意外と通じない
 - 「著者最終版(Author Final Version)」
 - 「グリーン・ジャーナル」「SHERPA/RoMEO」
 - などなど...

図書館の常識 教員・研究者の常識

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

 **広 報**

- ロゴ、キャラクターの作成
どのようなイメージを提供するか
 - ・世界に通じるものにするか
 - ・国内・学内のみに通じるものでいいのか

↓


「顔になるものを作る」ということを忘れずに!

↓

専門家(教員)にも相談してみよう!

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/




グッズ論

- グッズを作る目的とは？
 - 船出(お披露目)の記念品？
 - 効果的なPR？ (= 販促グッズ？)
 - 力の入れ方をアピールする？
- 自分たちへの励み？
- スポンサーへのご挨拶？

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/



グッズ論

- 広告効果はあるのか？
 - 期待しないほうがいい？
 - 図書館のイメージアップに有用？
 - 図書館サービス向上のためのツール？
- 費用対効果はどうか？
 - 使ってもらえるものか？
 - 埃をかぶっては無意味

「ムダ遣い」という反応も覚悟すること！

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/



お節介？ = みんなやさしい

- **Digital Repository Federation**
(= デジタルリポジトリ連合、DRF)
 メーリングリスト
 wiki (<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php>)
- 先行館の訪問(目的と行先を間違えない！)
- 研修仲間との情報交換
- 各種研修会・講演会

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/




参考文献等

- 学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト報告書
<http://www.nii.ac.jp/metadata/irp/NII-IRPreport.pdf>
- 国立大学図書館協会学術情報委員会デジタルコンテンツ・プロジェクト報告書
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/anul/> (委員会 学術情報委員会)
- 大学図書館研究 79号(2007.3)
 小特集: オープンアクセス

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修(名古屋会場)



<http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/>



おわりに

みんなでがんばりましょう！

We are Not alone!

2007/7/11 - 2007/7/13 平成19年度国立情報学研究所
ポータル研修名古屋会場